

詳細調査候補地の選定プロセス（概要）

資料2-3

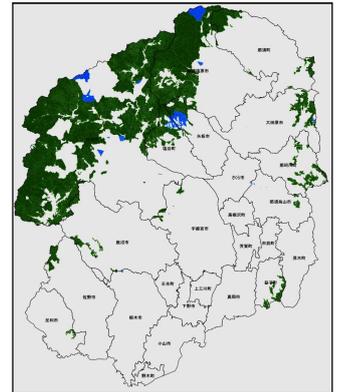
- 利用可能な国有地・県有地から、(1)自然災害を考慮して避けるべき地域（地すべり危険箇所など）、(2)自然環境を特に保全すべき地域、(3)史跡・名勝・天然記念物について除外

利用可能な国有地・県有地

国有地（126,830ha）・県有地（4,800ha）

宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、益子町、塩谷町、那須町、那珂川町

⇒ 15市町

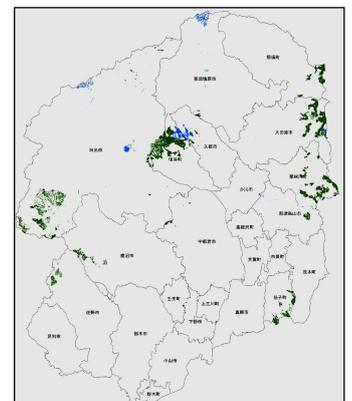


- (1) 自然災害を考慮して避けるべき地域を除外（地形・地盤に起因する自然災害を考慮）
→ 地すべり、斜面崩壊、土石流、洪水、雪崩、地震（活断層及びその近傍）、津波、火山噴火、陥没
- (2) 自然環境を特に保全すべき地域を除外（特に優れた自然環境の保全に及ぼす影響を考慮）
→ 自然公園特別地域、自然公園普通地域（国立、国定公園）、自然環境保全地域特別保護地区、鳥獣保護区特別保護地区 など
- (3) 史跡・名勝・天然記念物等の保護地域を除外
（歴史上または学術上価値の高い遺跡等の保護に及ぼす影響を考慮）
→ 史跡・名勝・天然記念物の所在地

国有地（13,320ha）・県有地（1,580ha）

宇都宮市、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、益子町、塩谷町、那須町、那珂川町

⇒ 13市町



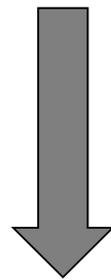
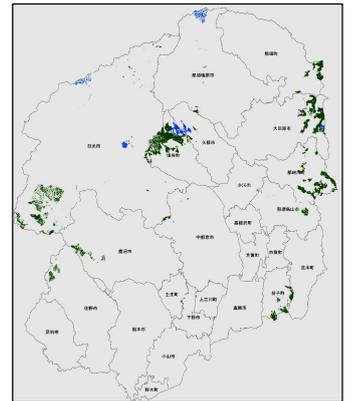
- 必要面積（2.8ha）を確保した土地を抽出
- より詳細なデータ（10mメッシュ）を用いて地形を精査



国有地（13,320ha）・県有地（1,580ha）

宇都宮市、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、
那須塩原市、さくら市、那須烏山市、益子町、塩谷町、
那須町、那珂川町

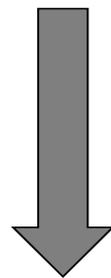
⇒ 13市町



- 栃木県内の指定廃棄物（12,150トン）を処理するために必要な面積は約2.8ha
- 必要面積を確保できるなだらかな地形の土地を抽出
- 空中写真、現地確認により土地の確認を実施

29カ所

日光市、大田原市、矢板市、益子町、塩谷町、那須町、那珂川町
⇒ 7市町



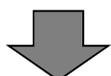
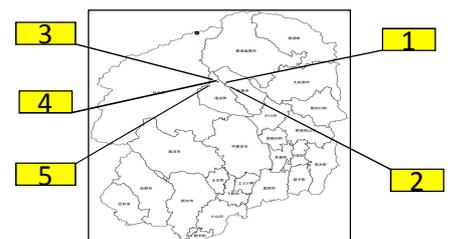
- 10mメッシュ※の勾配の分布や地形図を用いて微地形を確認し、尾根や沢が入り込む等、確保可能な必要面積を精査

※一辺10mの碁盤の目状に区画された領域（この領域毎に、勾配を算出して表示）

5カ所

矢板市（長井、大石久保）、
塩谷町（釈迦ヶ岳、上寺島、寺島入）

⇒ 2市町

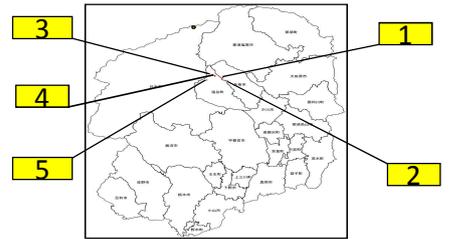


- (1) 生活空間との近接状況、(2) 水源との近接状況、(3) 自然度、(4) 指定廃棄物の保管状況により総合的に評価
- 項目ごとに5段階程度の評価基準を定めて、項目ごとの評価点をつけて総和した得点の大きい候補地を抽出



5カ所

矢板市（長井、大石久保）、
塩谷町（釈迦ヶ岳、上寺島、寺島入）
⇒ 2市町



(1) 生活空間との近接状況

- ・ 住居のある集落※と候補地の距離で評価（距離が離れるほど評価点が大きくなる）
※500mメッシュで整理された人口データ（国勢調査）において、人口が1名以上記録されているメッシュ内の建物

(2) 水源との近接状況

- ・ 水道用水と農業用水を取水している表流水や伏流水を対象とした水利点から候補地までの距離で評価（距離が離れるほど評価点が大きくなる）
- ・ 地下水については、水道水源となっている場合には、取水施設から候補地までの距離で評価

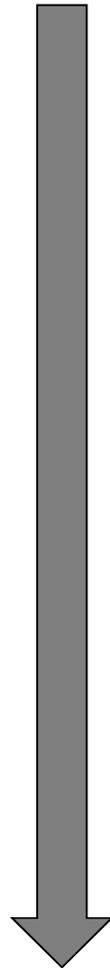
(3) 自然度

- ・ 植生自然度（1～10段階）で評価（自然度の低い方が候補地として評価点が大きくなる）

(4) 指定廃棄物の保管状況

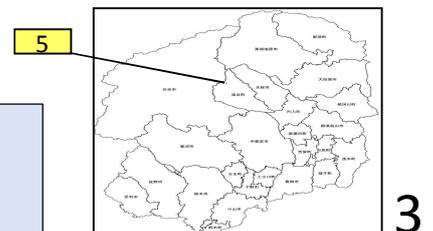
- ・ 指定廃棄物の保管の有無や保管量を比較して評価
- ・ 広域的な公共事業（上下水道、ごみ処理）から発生する指定廃棄物は、当該指定廃棄物を保管している市町村だけでなく、受水・排水している市町村に応分の割り戻しを行う

※8,000Bq/kg超の未指定の廃棄物の保管量を含む



1カ所（詳細調査の候補地）

塩谷町（寺島入）



3